

中村遊廓と中村公園史跡を歩く

○日時:12月16日(土) 13:30~16:00 ○案内人 西川 洋

◎中村遊廓

東京・吉原や神戸・福原と同じく、江戸期から続く公娼・旧赤線で、成立は吉原よりも遅い江戸時代の安政年間で、長い歴史の中で何度か移転を繰り返し、大正12年(1923年)4月に旭遊廓の移転により開業。総面積は31,620坪にも及び日本一の規模を誇る遊里。

全盛を極めたのは昭和12年前後で、当時娼家の数は140軒、娼妓は約2,000人、一日に3,000人程の客が登楼する賑わいを見せ、花魁道中を催すなど大変に栄えた。全国の娼妓総数の約4.5%が中村に集中していた。しかし、戦中に名古屋は大規模な空襲を受け、昭和18年には娼家19軒、娼妓は220人に縮小された。戦後には公娼制度が廃止され、その後売春防止法が施行されるなど、時代に揉まれた結果、現在は10軒のソープランドが営業するだけとなっている。旧遊廓で廓の区分けに使われていた『日吉』『寿』『大門』『羽衣』『賑』という呼称が、現在の地名にもそのまま残されている。

(現在のソープ街としての中村遊廓を指す時は、『大門(おおもん)』と呼ぶことが多い。)

別紙:中村遊廓略図

◎中村公園史跡巡り 見学コースと見どころ

常泉寺→妙行寺→中村公園入口→豊国神社→豊公誕生地之碑→八幡社→木下宅跡→小出秀政宅跡→秀吉清正記念館→中村公園駅

- ① 常泉寺 慶長3年秀吉没後、太閤屋敷跡に清正が建立。境内には「秀吉手植えのヒイラギ」や秀吉銅像などがある。
- ② 妙行寺 名古屋城天守普請にあたった加藤清正が天守閣完成後、普請小屋を移築して本堂とした。清正の銅像や生誕地碑もある。
- ③ 豊国神社 秀吉を祭神とする神社。中村区の有志が発案し、当時の県令国貞廉平の尽力を得て、明治18年に創建。
- ④ 八幡社 加藤清正が清正必勝祈願の社と伝えられる。
- ④ 木下屋敷跡 高台秀吉の高台院正室高台院の甥。秀吉に仕えて若狭小浜城主となったが関ヶ原の戦いで失脚。その後京都東山に隠棲し当代一の歌人として名を遺した。
- ⑤ 小出秀政宅跡 秀吉の家臣。妻は大政所秀吉の母の妹で秀吉より3歳年下だが伯父にあたる。岸和田3万石の城主となり、秀吉の死後、秀頼(秀吉の二男)の補佐役を務めた。
- ⑥ 秀吉清正記念館 秀吉、清正の生きた時代や尾張の戦国武将の姿などを、絵画、工芸、文書などの資料やビデオ映像などを紹介する資料館。名古屋市博物館の分館。

別紙:中村公園散策コース略図

以上